



にほん しょうがつ あそ 日本のお正月の遊び

日本には 昔から 伝わる 特別な お正月の 遊びが あります。
お正月になると 家族で 凧あげや 福笑いを したり こま回しや 双六を する人が 多いです。
街の中でも こまや 羽根つきなどの 飾りが つけられます。

お正月の 遊びには それぞれ 意味が あります。
来年の お正月は 新しい1年を お祝いして みんなで 遊びませんか。

◆羽根つき

羽根つきは バトミントンに 似ています。 羽子板
で 羽根を はね上げて 遊びます。 羽根に 使わ
れている 植物は 「無患子」といいます。
「無患子」の漢字が 「子どもが 病気に ならない」と
いう意味で 厄除け (ward off bad luck) のために
羽根つきを していました。
羽根を 落とすと 顔に
墨を塗られるというのを マンガで
見たことがありますか？
これも 厄除け だそうです。



◆凧あげ

凧あげも 昔の人は 「1年が始まる日に 空を見上
げるのは 健康によい」と信じていました。
また その年に生まれた 子どもが
元気に 育つように 祈って
凧あげを していました。



※諸説あります。

◆こま回し

こまは まっすぐに くるくる 回る
ので 「お金が回る」「いろいろな事
が うまくいく」という 縁起物。
(いいことが あるように 祈るもの。
Good Omen)



◆双六

双六は 新しい1年の 「運試し」として 遊ばれます。
ルールが 簡単で
子どもから お年寄りまで
何人でも 一緒に 遊べます。



◆福笑い

「ひょっとこ」や 「おたふく」の顔の絵に 眉毛 目
鼻 口を 並べる 遊びです。並べる人は 目隠しを
するので 出来上がった顔が とても 面白くなります。
「笑う門には福来る」(笑うと いい
ことがある) という
ことわざがあります。 お正月に
たくさん 笑って いい1年に
しよう!と 「福笑い」を します。



【編集後記】 Editor's note

日常会話だけでなく、日本語での読み書きも堪能な外国の方が
増えています。先日お目にかかった、南アジアに多い苗字というチョー
ドリーさんは、漢字で「長鳥」と署名されました。はじめは「鳥」を「島」
と読み間違えて、長島さんと結婚された方かと思いましたが、さに
あらず。こんな風に異国の文化と漢字が融合して、新しい表現が誕
生するのはとても楽しいですね。

(編集ボランティア：森千里)



SIGNALはボランティアの協力による季刊誌です。
本誌に対するご意見・ご感想がございましたら、
ぜひ、FAXやE-mailでお聞かせください。
FAX:044-435-7010
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp



発行 川崎市国際交流センター

〒211-0033川崎市中原区木月祇園町2番2号
TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
http://www.kian.or.jp/



本誌記事の転載等については必ずご連絡ください。公益財団法人川崎市国際交流協会 検索